

高次脳機能障害について

2012/1/28

ほのぼのの教室

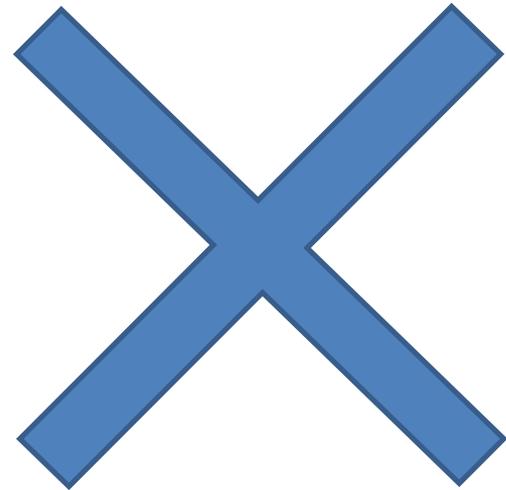
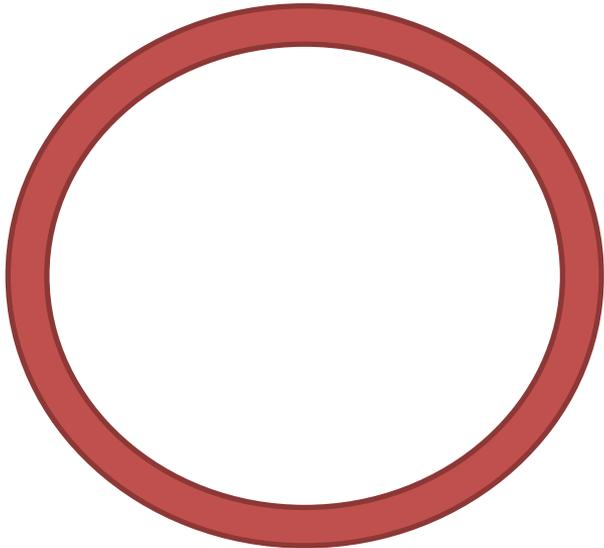


突然ですが……

“高次脳機能障害”

知っていますか？

聞いたことはありませんか？



高次脳とは・・・

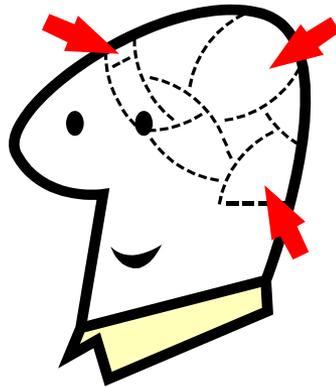
⇒人がよりよく生きる脳の機能！

言語

記憶

注意

計画



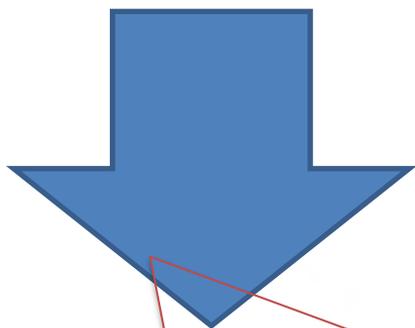
学習

思考

推論

目に見えない高次脳機能障害

- ・あの人、誰だっけ？
- ・段差に気づかなかった！！

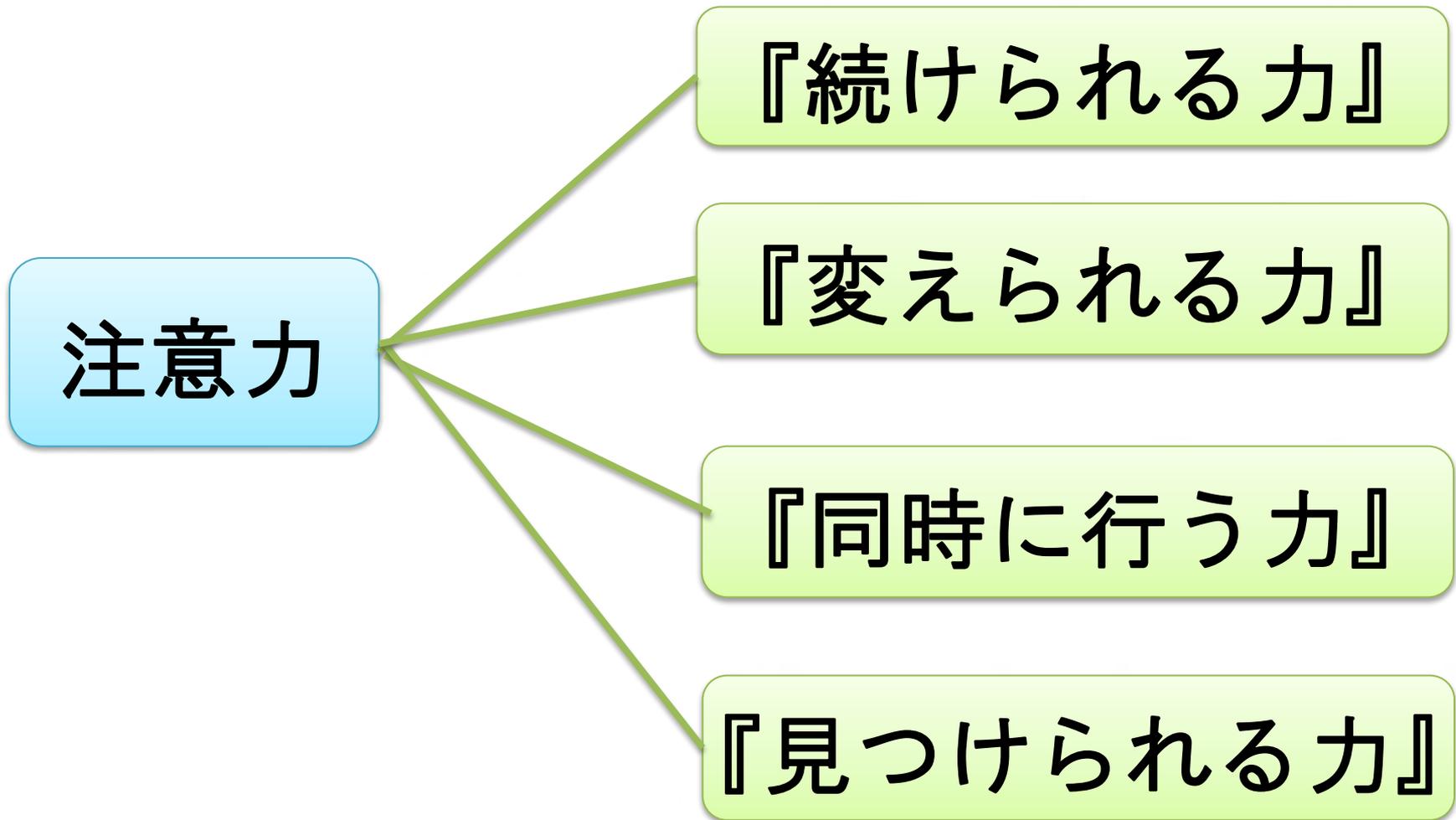


- ・ドジな性格
- ・良くあること

軽く見してしまう
100人いたらその症状も100通り
患者様やご家族様のストレスや負担に

注意障害

⇒いわゆる集中力(チェックシート①～④)



日常で見られる注意障害

- 集中力や根気が続かない
- 飽きっぽい
- 音や目に入るものも気になり注意散漫
- 話しながら歩くと物にぶつかる
- テレビのリモコンがなかなか見つからない



注意障害への対応例

集中できる環境を作る

ポスターなどで注意喚起

端的な声掛け



など、ご本人に合った援助を！

記憶障害

⇒ 「気づき」の障害を伴う

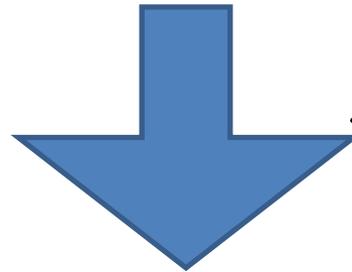
あの人誰だっけ？
今、何してた？
何か言われた気が . . .
同じ話を何度も . . .
さっきも言ったのに . . .



記憶障害への対応例



メモやラベル
の利用



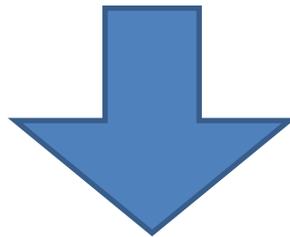
メモがあることも
忘れてしまう

危険と思われる(火元・刃物)は使用しない
根気強く会話

失認

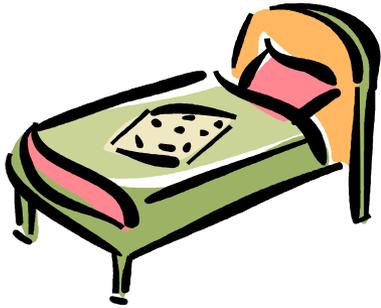
⇒ 感覚（目・耳）は正常なのに
それを認知できないこと

チェックシート⑦、⑧



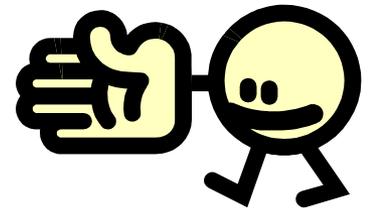
- 左側の柱にぶつかってから気付く
- お盆の片側に気づかず、食べ残してしまう。
- 麻痺している側の手足を無視してしまう

失認への対応例



- ベッドや車いすでは怪我をしないようクッションなどを利用する
- 安全な環境を作る

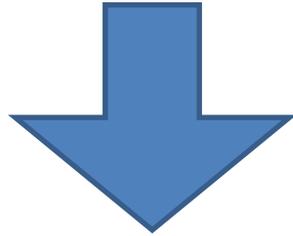
- 麻痺している側について声をかける、触ってもらう



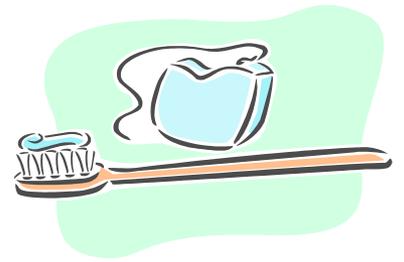
失行症

⇒意識すると動作がぎこちなくなる
チェックシート⑨、⑩

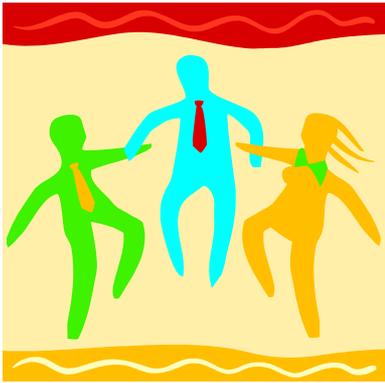
頭で理解していてもその動作ができない。
道具を知っていても道具が使えない。



- 髭剃りの時に動きがオーバーになる
- 歯ブラシを櫛のようにつかってしまう



失行症への対応例



- 全員が同じ援助を行う
- 声掛けなどは単純に
- 正しい動作の経験を重ねる

- どんな場面でみられるのか把握
- 集中できる環境にする



まとめ

- 症状は様々であり、本人やご家族が気づきにくい
- 状況や環境の変化に左右されやすい



専門家など周囲の助けも借りて、
焦らずに自分の高次脳機能障害を
理解していくことが大切です